科目名	経済学入門	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学部	■ 必修 □ 選択
			総合政策部	□ 必修 □ 選択
英文表記	Introduction to Economics	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	たにがわ この	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	谷川 琴乃	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	経済の基本的な仕組みを理解し、経済的な問題を的確に分析できるようになる。			
到達目標	1. 経済学の基本的な概念を説明できる。 2. 具体的な経済問題を理解できる。			
授業概要	本授業では、経済学の基本概念を学び、理論的な枠組みを理解することに重点を置きます。経済学の基本的な考え方を体系的に学ぶことで、今後のミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶための土台を築きます。			
授業計画				
第1回	経済学とはなにか？			
第2回	市場の効率性－ミクロ経済学の基礎－			
第3回	マクロ経済学の学び方			
第4回	お金の役割			
第5回	財政と税			
第6回	公共経済			
第7回	国際貿易と為替			
第8回	インフレとデフレ			
第9回	ゲーム理論			
第10回	法と経済学			
第11回	労働問題			
第12回	環境問題			
第13回	少子高齢化			
第14回	恋愛の経済学			
第15回	総括			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	事前学習：各回の授業前に指定されたテキストの該当部分を読んでおく。(1.5時間程度) 事後学習：提出された演習問題に取り組み、理解を深める。(1.5時間程度) 経済ニュースを定期的にチェックし、学んだ理論と結びつける。(0.5時間程度)			
履修条件 受講のルール	なし			
テキスト	笹山茂、米田耕士編著、『経済学ベーシック 第2版』、日本評論社、2021年。 ※別に資料を配布する場合は、授業日までにポータルサイト上へ資料を掲載します。各自パソコン等にダウンロードするか印刷するなどして予習し、授業に持参してください。			
参考文献・資料	古沢泰治、塩路悦朗、『ベーシック経済学 ― 次につながる基礎固め 新版』、有斐閣アルマ、2018年。 伊藤元重、『はじめての経済学 上・下』、日経BPマーケティング、2004年。 浅子和美、『経済学入門 15講』、新世社、2021年。 ダロン・アセモグル、デヴィッド・レイブソン、ジョン・リスト著、岩本康志、岩本千晴訳、『アセモグル/レイブソン/リスト 入門経済学』、2020年。			

	N・グレゴリー・マンキュー著, 片桐満, 篠潤之介, 溝口哲郎訳, 『マンキュー入門経済学 第4版』, 2025年. その他、授業内で適宜紹介します。
成績評価の方法	授業態度(10%)、課題(30%)、定期試験(60%) 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。
オフィスアワー	水曜日 (10:40~12:10) 木曜日 (10:40~12:10、13:00~14:30)
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	経済学は、私たちの生活や社会を理解するための重要な学問です。本授業では、経済学の基本概念と理論的枠組みを学び、それをミクロ経済学やマクロ経済学に結びつけることを目指します。理論を体系的に理解し、今後の学習の基盤を築きましょう。